

「乳がんってなあに？」Q & A集

【Q】アンジョリーナ・ジョリーさんが BRCA1 の異常で乳房・子宮を切除しましたが日本でもそれは可能ですか？ちなみに磐田市立総合病院では？また、費用はどれくらいですか？

【A】日本国内の限られた施設で、遺伝カウンセリングを受けていただいた後であれば可能です。なお、当院ではできません。また、参考までに遺伝子検査が約 25 万円、そして遺伝子異常が見つかった場合、片側の予防的乳房切除を行う時は、聖路加病院（東京）は手術代が約 33 万円、入院費が 1 週間で約 28 万円。卵巣摘出（子宮は卵巣と一緒に切除することがあります）は開腹で約 27 万円、腹腔鏡で約 44 万円だそうです。（がん研究会附属有明病院の場合、片側予防的乳房切除は 1 週間の入院で、約 80 万円だそうです。ただし、その他に必要な検査を追加すれば自費で追加していくことになります）

費用は回答時点のものであり、詳細は各病院等へご確認願います。

【Q】全摘した側の検診はどんなことをするのでしょうか？

【A】対側の乳がんの発生の危険がありますから、対側のマンモグラフィは年 1 回行ってください。全摘した側の皮膚や全摘した側の首や腋窩のリンパ節再発に早く気付くためには、月 1 回ご自分で皮膚が赤くなったところや硬いしこりができていないか、首やわきの下に“ぐりぐり”がないか、観察して下さい。

【Q】早期のがん発見はどうしたらできますか？

【A】早期のがん発見は、やはりまずは対策型のがん検診を受けていただき、それでも心配な時は任意型検診（人間ドック）を受診することが良いと思います。残念ながら、検診を受けていれば、必ず早期発見できるわけではありませんが、早期発見できる可能性は高くなります。日本対がん協会のホームページ（<http://www.jcancer.jp/>）やがん情報サービスホームページ（<http://ganjoho.jp/>）をご参考下さい。がん情報サービスの予防・検診の項目を見ていただくと、対策型がん検診の項目が分かります。死亡率減少効果は、明らかではありませんが、どうしてもがんが心配な方は、民間の健診センターで PET 検診を受けることも一つの方法だと思います。ただし、10 万円前後しますし、PET を行ったところで全てのがんが必ず発見できるわけではありません。

【Q】周りにもがんになった人が増えてきているが、なぜでしょうか？

【A】がんになった人が増えてきているのは、環境の変化の影響が大きいと思います。がん情報サービスのがんの発生原因の部分をご参考下さい。科学的根拠に基づくがん予防という冊子を見ていただければ、がんになるリスクを下げるには、禁煙、節酒、食生活を見直す（減塩する、野菜と果物を摂る、熱い飲み物や食べ物は冷ましてから）、運動する、適正体重を維持する（BMI = 体重kg ÷ 身長 m ÷ 身長 m を、男性は 21 ~ 27、女性は 21 ~ 25 に維持する）がよいであろうとされています。1996 年ハーバード大学のがん予防センターから発表されたアメリカ人のがん死亡の原因では喫煙 30%、食事 30%、運動不足 5 %、飲酒 3 % の合計で、全体の 68% で生活習慣の見直しで予防できた可能性があると言われていています。最近がんが増加していることに関しては、日本でまだ習慣が進んでいないこと、食が豊かになった反面、肉や脂っこいものの取り過ぎに偏りがちだったり、車社会となって運動不足となっていることなど、さまざまな要因があると考えます。

【Q】DCIS 治療から早 15 年。これからの検診は何をどのくらいの頻度で受けたらいいでしょうか？また、生活の中で気をつけることはありますか？

【A】対側乳がんの発生の危険は、乳がん治療を受けていない方よりは高いと考えますので、月 1 回の自己検診と年 1 回のマンモグラフィ検診をお勧めします。閉経されているのであれば肥満を避けること、糖分の取り過ぎや、脂肪の取り過ぎに注意し（油はオリーブ油をお勧めします）過度の飲酒を避けて運動を心掛けてください。また、受動喫煙及び喫煙は避けてください。

【Q】前立腺がんの場合は、ホルモン療法をするとフィードバックが起こると聞いたことがあります。乳がんはホルモン療法をしてエストロゲンをカットしてもフィードバックは起こらないのでしょうか？

【A】血中エストロゲン濃度が低下したときにエストロゲンを卵巣から放出するように視床下部から指令が出ること、あるいは血中エストロゲン濃度が上昇したときに卵巣からの放出をおさえる指令が出たことをフィードバックといいます。乳がんのホルモン療法は 抗エストロゲン剤、 LH-RH アゴニスト、 アロマターゼ阻害薬、その他があります。主には から を使います。

はエストロゲンが乳がん細胞に取り込まれることを妨げます。閉経前にも閉経後にも使います。抗エストロゲン剤を閉経前女性に使用すると血中エストロゲン濃度が少し上昇する可能性はあります。

は閉経状態にします。これにより閉経状態と同じ血中エストロゲン濃度となります。

はエストロゲン生成を阻害します。閉経後、あるいは閉経状態で使用します。ただし閉経直後に使用するとエストロゲン濃度の低下からフィードバックがかかり月経が再開する可能性があります。閉経して数年経っていれば心配ありません。

ですから閉経前の女性には を使うことが多いですし、閉経直後の場合 を使わずに使ったりします。

【Q】ホルモン療法の金額を知りたい。

【A】薬価（薬の値段）についてお答えします。

以下の薬剤はすべてジェネリックではありません。ジェネリックを使用すれば安くなります。（すべてにジェネリックがあるわけではありません。）また、3割負担であればこの金額の3割、1割負担であれば1割になります。

単価は以下のようになります。

薬 剤	単価（円）	1日あたりの価格（円） （1か月28日として）
抗エストロゲン剤（内服）		
ノルバデックス 20mg	332.4	332.4
フェアストン 40mg	374.1	374.1
アロマターゼ阻害薬（内服）		
アリミデックス 1mg	495.6	495.6
アロマシン 25mg	474.7	474.7
フェマーラ 2.5mg	674.1	674.1
LH-RH アゴニスト（注射）		
ゾラデックス 3.6mg（1か月製剤）	38,888	1,388.9
ゾラデックス LA10.8mg（3か月製剤）	68,203	811.9
リュープリンキット 3.75（1か月製剤）	40,975	1,463.4
リュープリン SR キット 11.25（3か月製剤）	72,978	868.8

LH-RH アゴニストには1か月に1回注射する1か月製剤と3か月に1回注射する3か月製剤があります。

例えば、ノルバデックス 20mg とゾラデックス 3.6mg を併用すれば
28日では

ノルバデックス 20mg 332.4 円 × 28 日 = 9,307.2 円

ゾラデックス 3.6mg 38,888 円

合計 48,195.2 円となり、1日 2,008.1 円となります。

【Q】市立総合病院での乳房再建手術は、どのくらい行われているのでしょうか？

【A】当院での2014年における乳房再建手術実績は、下表のとおりとなります。

項 目	件数
一次一期（自家組織）	4 件
一次二期（人工物）	4 件
二次一期（自家組織）	1 件
二次二期（人工物）	5 件

自家組織とは広背筋皮弁や腹直筋皮弁での再建を指し、人工物とは組織拡張器（tissue expander）と人工乳房（silicone implant）を用いる再建方法を指します。